



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 株式会社 荏原製作所

上場取引所 東 札

コード番号 6361 URL <http://www.ebara.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢後 夏之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長

(氏名) 長木 健悟

TEL 03-3743-6111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	175,972	1.7	3,048	△68.4	151	△98.0	△333	—
23年3月期第2四半期	173,111	△17.4	9,643	301.9	7,754	615.3	3,885	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 23百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △884百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.79	—
23年3月期第2四半期	9.20	8.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	460,010	153,582	32.5
23年3月期	507,898	154,939	29.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 149,649百万円 23年3月期 151,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	△1.7	20,000	△36.6	16,000	△44.3	8,000	△71.6	18.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	422,845,658 株	23年3月期	459,245,678 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	657,258 株	23年3月期	37,168,870 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	422,109,648 株	23年3月期2Q	422,178,660 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

《業績の全般的概況》

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、海外では米国において失業率の高止まりや住宅価格の下落などを背景に景気の回復ペースが鈍化しており、ヨーロッパにおいても一部の国の金融システム不安を背景に回復が弱まっています。一方、アジアでは中国、インドの景気が堅調な内需を背景に引き続き好調に推移しました。国内では、公共部門において予算縮減の影響により引き続き投資が低調であり、民間部門においても、東日本大震災を機に落ち込んだ設備投資が下げ止まりつつあるものの、景気は総じて弱い動きで推移しました。

このような経済情勢のもと当社グループは、平成25年度を目標年度とする3カ年の中期経営計画「E-Plan2013」の初年度として、①重点地域での“城産域消”を推進すると同時にグローバルな視点に基づく最適地生産及び製品供給体制を確立する、②中核事業の領域拡大により新市場への進出を図る、③科学的アプローチにより“ものづくり”プロセスの最適化を図る、④事業領域のグローバル化に即して本社機能を拡充する、という4つの基本方針のもと、より確実で安定した事業構造の確立に向けてスタートしました。

この結果、前年同期と比べ受注高は、風水力事業で増加したもののエンジニアリング事業、精密・電子事業とも減少したため、全体としては減少しました。売上高は、精密・電子事業の売上増加により、全体としては増収となりました。営業損益は、風水力事業の減益やエンジニアリング事業における工事損失追加引当による減益を精密・電子事業の利益増でカバーできず、全体としては減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,759億72百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は30億48百万円（前年同期比68.4%減）、経常利益は1億51百万円（前年同期比98.0%減）、四半期純損失は3億33百万円（前年同期比42億18百万円の悪化）となりました。

《セグメントの状況》

風水力事業では、ポンプ事業は海外市場において、中東を中心とする石油・ガス業界、水インフラ設備業界などのプロジェクト数は増加していますが、円高の進行により価格競争が厳しくなっています。このような状況の中、地域ごとのマーケティング活動によるニーズの掘り起こしや生産革新運動等による競争力の強化を促進しました。国内市場においては、公共部門では予算規模が縮減され、厳しい市場環境となっていますが、民間の建築設備業界では若干ながら回復傾向が見られました。なお、東日本大震災により被害を受けたポンプ機場や発電所等のインフラ設備の復旧には最優先で対応しました。コンプレッサ・タービン事業では、石油・ガス業界の案件数が増加して受注環境が上向きつつあるものの、欧米企業との競争が厳しくなっています。このような状況の中、グローバルで新規製品の販売を促進していくとともに、サービス&サポート事業の強化も推進しました。冷熱事業では、国内市場が伸び悩む一方、中国市場は現地拠点における販売が好調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間における同事業の売上高は1,171億24百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は7億23百万円（前年同期比89.3%減）となりました。

エンジニアリング事業では、国内公共部門において、廃棄物処理施設の維持管理・保守(O&M)ではほぼ例年並みの発注となりましたが、東日本大震災の影響により新規建設工事(EPC)等において発注の遅れも見られました。一方、民間部門では設備投資の抑制を受けて厳しい状況が続きました。このような状況の中、EPCの技術力及びO&Mの全国サービス網を活用した一体運営をさらに強化し、市場環境と顧客ニーズの変化に的確に対応するための諸施策を推進しました。

当第2四半期連結累計期間における同事業の売上高は169億81百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント損失は海外焼却炉案件(ドイツ・インフラサブ・プロジェクト)の工事損失を40億円追加引当したため34億21百万円（前年同期比22億96百万円の悪化）となりました。

精密・電子事業では、世界的景況感の悪化から半導体製品の需要が低迷し、半導体メーカーの設備投資計画の後ろ倒しが見られました。特にDRAM系メモリメーカーは在庫調整などの影響もあり大きく下方修正しました。一方でフラッシュメモリは高機能携帯及びタブレット型携帯端末の市場拡大に支えられ比較的順調に推移しました。このような状況の中、生産性の向上や海外生産・海外調達の推進、装置立上部門での人材配置の最適化を進めました。

当第2四半期連結累計期間における同事業の売上高は373億26百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は53億77百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ仕掛品が77億5百万円、原材料及び貯蔵品が20億45百万円増加しましたが、現金及び預金が183億円、受取手形及び売掛金が387億27百万円減少したことなどにより、478億87百万円減少して、4,600億10百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が201億5百万円減少し、有利子負債が229億5百万円減少したことなどにより、465億31百万円減少して3,064億27百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、配当金21億10百万円を支払い、四半期純損失3億33百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ13億56百万円減少して1,535億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績につきましては、本年10月28日「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しました見通しに変更はありません。

《業績見通し》

()内は前期比増減

	連結業績	
売上高	3,950億円	(△1.7%)
営業利益	200億円	(△36.6%)
経常利益	160億円	(△44.3%)
当期純利益	80億円	(△71.6%)

《事業のセグメント別業績見通し》

()内は構成比

	売上高		セグメント利益	
風水力事業	2,700億円	(68.4%)	130億円	(65.0%)
エンジニアリング事業	500億円	(12.7%)	0億円	(0%)
精密・電子事業	650億円	(16.4%)	65億円	(32.5%)
その他の事業	100億円	(2.5%)	5億円	(2.5%)
全体	3,950億円	(100%)	200億円	(100%)

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 市場環境
2. 大型プロジェクト及び海外事業
3. ドイツ・インフラサーブ・プロジェクト
4. 事業再編等
5. 為替リスク
6. 金利変動リスク
7. 災害や社会インフラの障害発生にかかる影響
8. 繰延税金資産
9. 資材調達
10. 訴訟リスク
11. 法的規制
12. 土地売却費用増加リスク
13. 輸出債権回収リスク

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,675	82,375
受取手形及び売掛金	161,512	122,784
有価証券	3,327	3,767
商品及び製品	7,988	8,726
仕掛品	40,413	48,118
原材料及び貯蔵品	18,473	20,519
その他	41,479	44,587
貸倒引当金	△1,447	△1,335
流動資産合計	372,422	329,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,408	37,525
機械装置及び運搬具（純額）	22,756	22,233
その他（純額）	28,558	28,350
有形固定資産合計	89,723	88,109
無形固定資産		
投資その他の資産	7,237	6,578
投資その他の資産		
投資有価証券	22,200	20,045
その他	19,549	18,617
貸倒引当金	△3,233	△2,883
投資その他の資産合計	38,515	35,778
固定資産合計	135,476	130,465
資産合計	507,898	460,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,923	78,817
短期借入金	68,383	78,042
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,000	—
賞与引当金	6,337	6,164
役員賞与引当金	164	35
完成工事保証損失引当金	7,073	7,132
製品保証引当金	1,794	1,937
工事損失引当金	16,977	17,818
土地売却費用引当金	2,871	1,980
その他	37,554	35,529
流動負債合計	260,078	227,458
固定負債		
新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	50,655	37,870
退職給付引当金	15,681	14,466
役員退職慰労引当金	359	295
資産除去債務	1,769	1,780
その他	4,413	4,556
固定負債合計	92,880	78,969
負債合計	352,959	306,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,284	61,304
資本剰余金	65,213	65,234
利益剰余金	40,759	38,526
自己株式	△266	△270
株主資本合計	166,990	164,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,053	244
繰延ヘッジ損益	△9	△9
為替換算調整勘定	△16,083	△15,381
その他の包括利益累計額合計	△15,039	△15,146
新株予約権	363	386
少数株主持分	2,625	3,546
純資産合計	154,939	153,582
負債純資産合計	507,898	460,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	173,111	175,972
売上原価	129,675	139,531
売上総利益	43,435	36,440
販売費及び一般管理費	33,792	33,391
営業利益	9,643	3,048
営業外収益		
受取利息	97	92
受取配当金	225	209
受取保険金	10	1
持分法による投資利益	24	—
その他	595	505
営業外収益合計	953	809
営業外費用		
支払利息	1,629	1,332
為替差損	578	2,038
持分法による投資損失	—	127
その他	633	208
営業外費用合計	2,841	3,706
経常利益	7,754	151
特別利益		
固定資産売却益	27	33
投資有価証券売却益	1,205	—
事業譲渡益	—	150
特別利益合計	1,233	183
特別損失		
固定資産廃棄損	45	30
投資有価証券売却損	—	35
関係会社整理損	—	168
投資有価証券評価損	600	139
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	906	—
その他	228	20
特別損失合計	1,781	394
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,206	△59
法人税等	2,933	△175
少数株主損益調整前四半期純利益	4,272	116
少数株主利益	387	449
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,885	△333

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,272	116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,633	△812
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△3,458	691
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	28
その他の包括利益合計	△5,157	△92
四半期包括利益	△884	23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,258	△440
少数株主に係る四半期包括利益	373	464

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,206	△59
減価償却費	6,777	6,209
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	906	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△1,205	37
引当金の増減額(△は減少)	△7,256	△1,572
固定資産売却損益(△は益)	187	△17
受取利息及び受取配当金	△322	△302
支払利息	1,629	1,332
売上債権の増減額(△は増加)	49,637	39,589
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,249	△9,347
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,728	△20,596
その他	8,230	137
小計	39,813	15,412
利息及び配当金の受取額	362	552
利息の支払額	△1,564	△1,341
法人税等の支払額	△3,947	△4,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,664	9,832
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△8,840	△3,595
固定資産の売却による収入	15,877	157
投資有価証券の取得による支出	△317	△175
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,929	476
子会社株式の取得による支出	△28	—
貸付けによる支出	△501	△1,190
貸付金の回収による収入	7,300	1,130
その他	91	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,509	△3,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,387	2,891
長期借入れによる収入	4,429	222
長期借入金の返済による支出	△8,766	△5,571
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得処分による収支	△9	△3
配当金の支払額	—	△2,110
少数株主への配当金の支払額	△437	△255
その他	△400	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,796	△25,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△624	207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46,751	△18,171
現金及び現金同等物の期首残高	81,711	104,002
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	311
現金及び現金同等物の四半期末残高	128,463	86,141

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,097	18,606	31,796	167,500	5,610	173,111	—	173,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	327	50	5	383	2,265	2,648	(2,648)	—
計	117,424	18,656	31,802	167,884	7,875	175,760	(2,648)	173,111
セグメント利益又は損失 (△)	6,766	△1,124	3,770	9,412	54	9,467	176	9,643

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,124	16,981	37,326	171,431	4,540	175,972	—	175,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	290	0	—	291	1,791	2,082	(2,082)	—
計	117,415	16,981	37,326	171,722	6,331	178,054	(2,082)	175,972
セグメント利益又は損失 (△)	723	△3,421	5,377	2,679	251	2,930	118	3,048

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注の状況

事業の種類別 セグメントの名称	前第2四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (百万円)	当第2四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (百万円)
風水力事業	119,630	128,013	262,155
エンジニアリング事業	38,030	27,021	82,550
精密・電子事業	29,826	28,397	74,620
報告セグメント計	187,487	183,432	419,327
その他	5,241	2,236	11,665
合計	192,728	185,669	430,992

② 販売の状況

事業の種類別 セグメントの名称	前第2四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (百万円)	当第2四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (百万円)
風水力事業	117,097	117,124	268,942
エンジニアリング事業	18,606	16,981	51,660
精密・電子事業	31,796	37,326	67,902
報告セグメント小計	167,500	171,431	388,505
その他	5,610	4,540	13,169
合計	173,111	175,972	401,675

③ 受注残高の状況

事業の種類別 セグメントの名称	前第2四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (百万円)	当第2四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (百万円)
風水力事業	170,822	168,399	157,801
エンジニアリング事業	77,423	98,856	88,813
精密・電子事業	10,547	10,149	18,942
報告セグメント計	258,792	277,404	265,557
その他	4,963	3,299	4,727
合計	263,756	280,704	270,285

(注) 上記金額は販売価格によっており消費税等は含んでいません。また、セグメント間取引消去後の金額です。